

# 2019年度入試 校舎長 × 合格者

特色  
合格

～合格対談～

京都大学教育学部

河本吉華さん(嵯峨野高校)



京都大学・教育学部に特色入試で合格した河本さんは、高校2年の夏に河合塾マナビス京都駅南校に入会。マナビスでの受験生活を京都駅南校の山口校舎長と振り返ってもらいました。

山口校舎長「京大合格、おめでとう！」

河本さん「ほんとうに夢のようです。マナビスに初めて来た時は京大って絞っていたわけでもなくて、部活も忙しかったし、“京大なんか無理やろな〜”って正直思っていました。」

山口校舎長「バトントワリング部のキャプテン。大変そうだなあと河本さんの話を聞いていました。」

河本さん「山口先生が最初に私の全統模試の結果をみて『京大いけるよ』って言ってくれたのが嬉しくて嬉しくて…。あの時、行けるって言ってもらってなかったら、京大を目指してないし今の私はありません。背中を押してもらえたことに感謝しています。」



山口校舎長「実際、部活との両立は大変だったでしょ？」

河本さん「高3の6月までやって、おまけにキャプテンで…。でもマナビスの校舎はとても明るくて、『疲れてても行こう』と思える空間でした。一度、挫折して京大をあきらめようと思った時もあったけど…(笑)。高2の冬だったかな。」

山口校舎長「ありましたね(笑)。お母さんと二人で来て『もうあきらめます』って。」



河本さん「あの時も山口先生に『後悔しない?』って励ましてもらって…。きっと後悔すると思ったからやっぱり勉強しようと思直しました。それに挫けそうな時にちょうどいい時期にホームルームがいつもあって…。」

山口校舎長「映像授業のマナビスだからこそ、全員が集まるホームルームでは**大事なことを本気で伝えています。**」

河本さん「何度も何度も『大学入試はあまくない!』って言われました…。いろいろな話が聞けて、例えば先輩の成功話だけでなく、失敗の話もあったのでピリッとして気合いが入りました。ホームルームのあと家に帰るとお母さんに『今日はいい顔してるなあ』と言われてました(笑)。」

山口校舎長「そうでしたか。他に河本さんのマナビス活用法を教えてください。」

河本さん「やっぱり、先輩から聞いていたマナビス手帳です。私も**タイムマネジメント能力を身につけたくて**。この手帳を絶対に使いこなそうと思って、学校の移動教室の時も一番上にマナビス手帳を置いて校内を歩きまわってましたよ(笑)。」

山口校舎長「河本さんもしっかり使えましたね。この手帳は合格へのパスポートだと思います。」



山口校舎長「ところで、マナビスの授業はどうでしたか？」

河本さん「もちろん、英数国に世界史、京大過去問研究、センター対策…どれも素晴らしかったです。とくに英語読解L6が最高かな。私は、英語に少し自信があったのですが、この講座はすごくて…。おかげで英語を強烈な武器にできました。京大の入試問題にも怯むことなく臨めました。」

山口校舎長「合格発表で自分の番号をみた時の気持ちはどうでしたか？」

河本さん「よっしゃ〜というより、ほっとした感じでした。」

山口校舎長「大学受験を通して学んだことはありますか？」

河本さん「まず、京大を目指すにあたって、自分が何をしたいのかをじっくり考えることができました。小学校の頃にしかかったことやカナダ研修で感じたことなど。**やりたいことを考えるきっかけ**を与えてもらって、で、教育学部に行こうと。」

山口校舎長「なるほど。」

河本さん「それからみんなに支えられて受験を終えられたことに感謝しています。マナビスのみなさんや、学校の先生。そして何より家族に支えられ、見守られながら完走できました。」

山口校舎長「入試の結果だけでなく、“良い受験”ができましたね。本当におめでとうございます。」



河本さん、現役合格おめでとうございます。今後の更なる活躍を期待しています。